

令和8年度「看護の出前授業」事業実施要項

1. 目的：

医療・保健・福祉の最前線で活躍する看護職が講師となり、専門的な知見から「命の大切さ」や「心身の健康」等について多角的に伝えると共に、地域で活躍する講師自身が身近なキャリアモデルとなり、社会を支える看護職の仕事の魅力や多様なキャリアパスを提示することで、児童・生徒一人ひとりが自身の未来を考え、主体的に進路を選択する力を育む一助とします。

2. 主催：公益社団法人宮城県看護協会

3. 対象：宮城県内の小学校・中学校・高等学校

4. 派遣講師：医療現場や地域で活躍する現職の看護職員（看護師・保健師・助産師）

5. 開催期間：令和8年5月1日（金）～令和9年2月26日（金）

6. 申込期間：令和8年3月2日（月）～令和8年12月25日（金）

※開催希望日の2ヶ月前までに申し込みください。

7. 授業プログラム：（例）

①心身のセルフケア（健康を支える・自分を守る）

- ・自分自身の心と体を知る（性教育、プレコンセプションケア、セルフケア）

- ・感染症対策の実践学習（手洗い等）

②技術と感性（看護を体験する・心を育む）

- ・バイタルサイン測定体験（聴診器での心音聴取、血圧・脈拍測定）

- ・いのちの重み体験（赤ちゃん人形を用いた抱っこ体験等）

- ・救急蘇生法・応急手当の基礎

③看護の力と多様な未来（看護の仕事を知る・キャリアを描く）

- ・看護職の仕事とやりがい（現場エピソード、社会的役割）

- ・多様な活躍のフィールド（病院、在宅、地域、国際協力等）

- ・進路選択のアドバイス（進学ルート、専門職としての強み）

【実施形式のバリエーション】

講義形式以外にも、学習目的に応じて柔軟に対応可能です。

- ・講演、講話形式：体育館や教室でのレクチャー

- ・探求学習、インタビュー形式：「総合的な探求の時間」等における、生徒からの質問やインタビューへの回答、グループディスカッションへの参加

- ・実習、体験形式：小グループに分かれての看護技術体験やワークショップ

8. 費 用 :

- ・講師派遣料、交通費：宮城県看護協会が負担します。
- ・資料代：資料の印刷・配布につきては、原則として学校側でのご負担をお願いします。

9. お申し込みから実施までの流れ

- ① 申込：所定の申込書をメールまたは FAX で事務局（ナースセンター）へ送付
- ② 調整：事務局が申込内容を申込校に確認後、講師を調整し、担当教諭に連絡
- ③ 打ち合わせ：授業の具体的な構成（形式・質問内容等）、準備物、生徒の状況等について講師及び事務局と学校間で詳細調整
- ④ 当日：講師と事務局が訪問し、授業を実施
- ⑤ 報告：実施後、所定の報告書（学校用）を提出

（申込先・事務局）

公益社団法人 宮城県看護協会 宮城県ナースセンター

TEL : 022-272-8573 FAX : 022-272-7801

E-mail : miyagi@nurse-center.net

【申込みから出前授業までの流れについて】

申込み方法	学校は申込書に必要事項を記入し、宮城県看護協会へメールまたはFAXで、 開催希望日の2ヶ月前まで に申し込んで下さい。 ※申込書は宮城県看護協会ホームページに掲載しております。フォーマットをご使用下さい。
-------	--



講義内容等の確認	学校が希望する内容や日程等を宮城県看護協会と打ち合わせをさせていただきます。
----------	--



学校と講師の調整	① 宮城県看護協会が派遣講師の調整をし、学校の担当教諭様に講師名・所属施設等を連絡させていただきます。 ② 授業内容等については、ご希望の内容を講師と打合せをし、学校と講師間の連絡調整をいたします。
----------	--



出前授業実施	講師が学校に伺い授業を行います。 講義資料や会場、パソコン・プロジェクター等は原則学校側で用意していただきます。
--------	---



実施報告の提出	所定様式にて講師・学校それぞれ報告していただきます。 学校用実施報告書は、宮城県看護協会ホームページからダウンロードしていただき、後日、宮城県看護協会に提出をお願いします。
---------	---